

資料提供  
平成31年4月23日  
課名 平和推進PT  
担当 栗原  
内線 2365  
直通電話 082-513-2368

国連事務総長・ICAN代表と意見交換  
NPT運用検討会議第3回準備委員会への参加  
期間：H31. 4. 25～H31. 5. 3

### 1 趣旨

NPT運用検討会議第3回準備委員会に参加し、本県の平和の取組の発信や核軍縮に関するシンポジウムの開催を行うとともに、国連やNGO関係者と意見交換し、本県との連携強化を図る。

### 2 内容

#### (1) 期間

平成31年4月25日（木）から平成31年5月3日（金）

（NPT運用検討会議準備委員会会期：平成31年4月29日（月）～平成31年5月10日（金））

#### (2) 訪問地

ニューヨーク、ワシントン（米国）

#### (3) 参加者

知事，職員5名

### 3 主な用務

#### ○ NPT運用検討会議第3回準備委員会への参加（ニューヨーク）

- ・シンポジウム（別紙）の開催や個別の面談を通じて、本県の平和の取組の発信や核軍縮の進展に向けた働きかけ等を行う。
- ・国連事務総長を訪問し、国連が掲げる軍縮アジェンダや本県の平和の取組等について意見交換を行う。
- ・核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）と「核兵器と安全保障を学ぶ広島－ICANアカデミー」をはじめとした連携の具体化について意見交換を行う。
- ・本県の平和の取組を紹介するパネル展示や「ひろしまレポート」の配付を行う。

#### ○ 海外財団と連携したラウンドテーブルの開催（ワシントン）

- ・海外財団等と連携し、「ひろしまレポート」を活用したラウンドテーブルを開催し、各国の軍備管理・軍縮への取組等について、意見交換を行う。

### 4 日程（予定）

月日	主な内容	場所
4月25日（木）	（広島発・ワシントン着）	－
4月26日（金）	・米戦略国際問題研究所（CSIS）との意見交換	ワシントン
4月27日（土）	（移動）	ニューヨーク
4月28日（日）	－	ニューヨーク
4月29日（月）	NPT運用検討会議第3回準備委員会参加 ・グテーレス国連事務総長との意見交換 ・核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）フィン代表との意見交換 ・県主催シンポジウムの開催 ・グロッシ アルゼンチン大使（2020NPT運用検討会議議長候補）との意見交換	ニューヨーク
4月30日（火）	NPT運用検討会議第3回準備委員会参加 ・Chatham House, SIPRI, UNIDIR（県連携協定先）との協議	ニューヨーク
5月1日（水）	ラウンドテーブルの開催（マンスフィールド財団主催，別紙）	ワシントン
5月2日（木）	（ワシントン発）	－
5月3日（金）	（広島着）	－

※日付表示は現地時間

## 1 県主催シンポジウム

### (1) 趣旨

核兵器廃絶に向けたアプローチを巡って核兵器国と非核兵器国との溝が深まる中、世界有数の研究機関から研究者を招聘し、運用可能な核軍縮の方策について意見交換する。

### (2) 概要

日時：平成31年4月29日(月) 13:05～14:00 (55分)

場所：国連本部 Conference Room 11(国連総会ビル<G A> 地下1階)

テーマ：核軍縮を運用可能にする

### (3) 内容(予定)

区分	内容
パネルディスカッション	<p>○知事挨拶</p> <p>○共同研究発表</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・王立国際問題研究所(チャタム・ハウス) パトリシア・ルイス研究部長 研究テーマ「21世紀の核抑止論をめぐる様々な考え方」</li><li>・ストックホルム国際平和研究所(SIPRI) ティティ・エラスト研究員 研究テーマ「核軍縮検証を運用可能なものにする」</li></ul> <p>○パネリスト</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・核脅威イニシアティブ(NTI) イザベル・ウィリアムズ シニアアドバイザー</li><li>・国連国際軍縮研究所(UNIDIR) ジョン・ボリー 研究部長</li><li>・広島県知事 湯崎英彦</li></ul> <p>○モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一橋大学国際・公共政策大学院長 秋山信将教授</li></ul>

## 2 モーリン&マイク・マンズフィールド財団ラウンドテーブル

### (1) 趣旨

ひろしまレポートを活用し、各国の軍備管理・軍縮への取組等について、研究者や政府関係者と意見交換する。

### (2) 概要(予定)

日時：平成31年5月1日(水) 15:00～17:00 (120分)

場所：モーリン&マイク・マンズフィールド財団

テーマ：軍備管理と軍縮への取組

#### 【モーリン&マイク・マンズフィールド財団 概要】

○マイク・マンズフィールド元駐日米国大使と夫人の意志に基づき1983年に設立。

○米国とアジア各国のリーダー間のネットワーク作り、政策課題の研究、アジア各国に対する理解を深めることを目的として、出版活動や交流事業を中心とした様々なプログラムを運営。

○ワシントンDC、モンタナ州ミズウラ、東京に事務所を置いている。